

居酒屋「アイベン」店主様

この度は、私の起こした事件によって、お店の皆さんに大変なご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

本来ならば、私自身がお店に出向き、直接、謝罪させていただくのが筋だとは思いますが、何分、自由がきかない身ですので、手紙というかたちをとることしかできません。何卒、この無礼をお許してください。

私は今、警察の留置場の中で、自分自身の罪の認識がどれほど軽いものであったかを痛感し、自分の犯した罪をただただ後悔しています。

飲食店の皆さんが営業時間の何時間も前から入念な仕込みをし、お客様に満足いただけるよう、コツコツと努力されていることは、同じ飲食の世界で働いてきた私は、身にしみて理解しているつもりでした。しかし、今回、私は、空腹と自分自身に対する甘えた気持ちから、皆さんのお気持ちと努力を踏みにじってしまいました。自分が逆の立場だったら決して許すことができないことをしてしまいました。

今回の事件によって、私自身が、いかに中途半端な気持ちでしか仕事に向き合っただけでなかったか、遅すぎるとのおしかりをうけるとは思いますが、ようやく理解することができました。これからは、どんな苦労があろうとも、皆さんにかけてしまったご迷惑の大きさを自分自身への戒めとして忘れることなく、頑張っていこうと思っています。

お店に与えてしまった被害につきましては、お金を払えば許してもらえないわけではないことはわかっていますが、必ず弁償したいと思っています。

本当に申し訳ありませんでした。

令和2年12月10日

岩 川 哲